

➤ 29日 木曜

使徒

5:1 ところが、アナニアという人は、妻のサツピラとともに土地を売り、

5:2 妻も承知のうえで、代金の一部を自分のために取っておき、一部だけを持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

5:3 すると、ペテロは言った。「アナニア。なぜあなたはサタンに心を奪われて聖霊を欺き、地所の代金の一部を自分のために取っておいたのか。

5:4 売らないでおけば、あなたのものであり、売った後でも、あなたの自由になったではないか。どうして、このようなことを企んだのか。あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」

5:5 このことばを聞くと、アナニアは倒れて息が絶えた。これを聞いたすべての人たちに、大きな恐れが生じた。

5:6 若者たちは立ち上がって彼のからだを包み、運び出して葬った。

5:7 さて、三時間ほどたって、アナニアの妻がこの出来事を知らずに入って来た。

5:8 ペテロは彼女に言った。「あなたがたは地所をこの値段で売ったのか。私に言いなさい。」彼女は「はい、その値段です」と言った。

5:9 そこでペテロは彼女に言った。「なぜあなたがたは、心を合わせて主の御霊を試みたのか。見なさい。あなたの夫を葬った人たちの足が戸口まで来ている。彼らがあなたを運び出すことになる。」

5:10 すると、即座に彼女はペテロの足もとに倒れて、息絶えた。入って来た若者たちは、彼女が死んでいるのを見て運び出し、夫のそ



ばに葬った。

5:11 そして、教会全体と、このことを聞いたすべての人たちに、大きな恐れが生じた。

神の教会内部に全く問題がなかったかというのではなく、聖書はむしろ問題点を隠しません。アナニヤとサツピラ夫妻は罪を犯し、そして死んだのです。あまりにも厳しすぎると思われるでしょう。

献金を十分にしないときばかれるのでしょうか。そうではなく、自分のものを残しておくことに関しては4節にあるように、ペテロも認めています。問題はすべてをささげたかのように見せかけたことです。しかしそれで殺されるのでしょうか。あまりにも厳しい感じがします。

これは神のさばきのような印象を受けるかもしれませんが、聖書にはさばきという明言はありません。ただ「すべての人に、非常な恐れが生じた」とだけ記してあります。彼らが死んだ原因ははっきりとは分からなかったでしょう。しかし、神様はそのような出来事を通して、人々に正直であることを教えたのです。

今日も様々な出来事があり、解釈によっては「あの人は神にさばかれたのだ」というような発言を聞くかもしれませんが、早まった言い方はしないことです。ただ、出来事を通して自分自身が何を学ぶかが大切です。謙遜に神を敬いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

